

広報あつぎ1382号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q あなたの年代を選択してください。

10代	0人
20代	0人
30代	10人
40代	18人
50代	16人
60代	13人
70代以上	17人
	74人

広報あつぎ1382号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 紙面で紹介した行政情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面 未来のために今できること

- 大切なことなので。
- アユモが気になります。
- 記事の内容が興味関心のあるものだったから。
- 子どもの未来のためにできることを考えたい。
- 今まで気づかなかったことに気づかされたから。
- アユモのことは知っていたが、改めてSDGsにつながるものだとして認識した。
- アユモをきっかけに地域が活性化したら良いと思った。また、かながわPayのように、いろいろな電子決済に連携できたら良いと思った。
- 紙面を呼んで、西川きよしさんの「小さなことからコツコツと」という言葉を思い出しました。この言葉はとても大切だと思っています。

2面 小型カメラで事故を未然に防ぐ

- 事故を未然に防ぐ取組は安心できる。
- 子どもの安全確保に良い企画だと思う。
- 小型カメラがどういうものなのか気になった。
- 新しい視点を使い、確実に子どもたちを守ってほしいです。
- 子どもたちの通学中の事故のニュースを見たので、気になった。
- 活動は良いと思いますが、その後きちんと改善されるのか不安があります。
- 小型カメラで事故を防ぐ方法は素晴らしいと思います。成果を期待しています。
- 私の孫も来年は小学生です。安全に通学できるよう、対策強化をお願いしたいです。
- 子どもの交通事故が多いなか、小型カメラで危険箇所を検証することは非常に有効だと思う。
- 子どもの目線は大人になると忘れてしまっているなので、この取組で事故が防げると良いと思います。
- 児童に安全なことは大人にも安全です。危険認知場所の改善・改良の早期実施と完了を希望します。
- 小型カメラを付けている子は責任が増えるが、事故が起きた時は原因究明がはっきりするので良いと思う。
- 大変良い取組だと思います。並行して、通学路の安全を教師、児童で再点検することも大切だと思います。
- 自分も小学生の子どもがいるので、やはり登下校時は心配ですが、このような取組があると安心できる部分もあります。
- 児童を交通事故から守るため、児童目線での通学路点検は重要な取組だと思います。今回の取組の結果が迅速に市政へ反映されることを望みます。
- 子どもたちの下校見守りをしている際、危ないこともあったので、子ども目線で分かることはとても良いと思いました。それにより改善されることを期待します。
- すごく良い試みだと思います。子どもたちがよく通る道は、子どもたちの目線でチェックするのが良いと思います。公園や児童館の周りの道も実施したら良いと思います。

- 児童の登下校時の安全を守るための施策として、目新しいものだったので注目した。ただし、サンプル数が少なく、ただ実施していますという事実を公表しているだけで、どれほど真剣に考えているか疑問である。
- ランドセルに小型カメラを付けることは、子ども目線の映像から通学路の安全性を点検できるだけでなく、不審者を撮影したり、不審者が子どもに近づきにくくする効果も期待できるので、子どもの安全確保にかなり役立つと感じた。
- 通学路に信号などが無い場所も多く、車同士の衝突事故をよく見掛けるので、子どもが巻き込まれないよう、安全に登校してほしいと思います。我が家の近くの小学生は、たまに面白半分で防犯ブザーを鳴らすことがあるので、本人たちも安全を心掛けて登下校してほしいです。
- 小型カメラを使って危険な箇所を見つけ、改善が進むと良いなと思いました。個人的には、黄色いベストを着た高齢者の見守りの方が道路に広がって話し込んでいて、自転車、自動車ともに通行の妨げになっていて困っています。その点は、小学生のカメラでは分からないと思うので、別角度から検証してほしいです。
- 登下校中の児童のもらい事故のニュースをよく目にします。子どもの視点での調査はとても画期的で類を見ないすばらしい試みだと思えます。大人が気づかない点もたくさんあると思うので、是非、この結果も掲載してほしいです。また、同時に車の映像を子どもたちに見せることで、お互いの死角などを確認し合えるのではないかと思います。

2面 幼稚園で楽しく学ぼう

- 自分の子どもが将来的に保育園か幼稚園に入る年代のため、関心があるテーマです。具体性があり、臨場感あふれる興味深い内容でした。

3面 救急車の適正利用を

- どんな時に利用したら良いのかが分かりました。
- 本当に必要な人のために使えると良いなと思ったから。
- 救急車は本当に大事な時に使わないといけないと思う。
- 救急車の利用法について、悪い例も含めて詳しく聞きたいですね。
- 緊急事態の時に出勤してくれる救急車は日常生活でとても安心できる
- 救急安心カード、救急医療情報セットを全世帯に配布してほしいと思いました。
- コロナ禍で大変な状況のなか、救急車の適正利用は当たり前です。自分さえ良ければ良いは、言語道断です。
- 不適切に救急車を利用している人が多いという話をよく聞くので、このような記事はとても大切だと思った。
- よく分からない理由で救急車を呼ぶニュースを年末や救急の日に見たりするので、呼び掛けは大事だと思った。
- 救急車はしっかり市民を守っています。感謝の気持ちを忘れないで有効に使いたいと思います。救急車のお世話にならないよう気をつけます。
- 家族が救急車のお世話になった経験がある。隊員の方は本当に真摯に仕事をされていて感謝している。緊急の人が利用できるよう誰もが意識するとともに、隊員の方への配慮もできる世の中になってほしい。
- 運転中に救急車を見掛けることがある。信号待ちをしていたとき、救急車が反対車線を走ってきたが、信号待ちをしている車によって、先に進めなくなっていた。信号待ちをしていた先頭車両がもっと前に進んで右に寄れば救急車は進めたので、そのような配慮がもっと必要だと思う。

- 深夜や早朝にかかわらず、救急車のサイレンを聞かない日はないように思います。安心安全のために救急業務に従事している職員の方のご苦勞が伝わります。感謝の気持ちでいっぱいです。また、コロナ禍にもかかわらず、緊急性が低いと思われる事態でも救急車をタクシー代わりに要求する市民もいることについて、理解できません。本当にやめてほしいと思います。
- 知り合いの住む近隣の人が救急車を呼びました。呼んだ人は歩いて救急車に乗り込んで搬送されたそうです。その家の人に具合を聞いたところ「大したことはないんだけど、かかりつけの病院に行く足がないのでタクシー代わりに呼んだんだ」と平然と言っていたそうです。その家の家族の人が消防署に勤務しているにもかかわらず、救急車をタクシー代わりに利用しているのが現状です。

3面 新型コロナワクチン接種のお知らせ

- 接種を希望するから。
- 4回目接種の正式な開始時期が気になります。
- まだまだ収束しないので、とても気になっています。
- 一度もワクチン接種をしていない人がいることに驚いた。

4・5面 一人の「少し」がつくる未来

- SDGsについて分かりやすい取組が示されていて良かったです。
- 紙面を読んで、SDGsで今できることを多様な視点で考えることができました。
- SDGsについて、日常生活で個人としてできることを改めて確認し、微力ながら貢献していこうと思った。
- SDGsを考えるために、ゲームをするというのは良いと思います。きっかけができるのとやる気が出てくると思います。
- SDGsの活動は、地球上の人々が日常から継続して行う事項なので、行政を中心に啓蒙活動を推進していることは大変意義があると思います。
- SDGsの言葉を聞くことはあっても、どのような取組なのかは知らずにいました。実際に市民の方のインタビューが掲載されていて、身近に感じることができました。ただ、まだ理解が深まっていないので、定期的に特集していただくとより良いと思います。
- SDGsについて、最近よく耳にしますが、日本語の単語でないと親しみがわかず、実際にどのようなことをすれば良いのかよく分からないままでした。今後は、自分には何ができるのか、小さなことでも良いので、ごみの分別一つにしてもSDGsを行っているという意識を高めていきたいと思っています。

6面 ひとまち元気

- あつぎ鮎まつりが延期となっていました。11月5日に開催を決定いただきありがとうございます。みんなの力で感染を抑えてぜひ開催できるよう祈念します。
- 先月のアンケートで、今年こそはやるんだと喜んだのがっかりしたと書いてしまいましたが、紙面で市長こそ苦渋の決断を迫られて残念でならなかったのだと分かり、先月の自分の発言が少し申し訳なかったような気がしました。

6面 みんなで！SDGs

- 節電や節水、食品ロス削減、ごみの分別等、できることからSDGsを実行したいと思います。
- SDGsは、一人一人が意識して実践することが大切だと思います。街で捨てた吸い殻は、側溝から川へと流れ海まで流れ着き、何年も堆積します。その廃プラは魚の量より多くなるとも言われているので、ごみは捨てない、一つでもごみを拾う等、とにかく一人一人が自分のできることをしましょう。

7面 タウンガイド

- 天達さんの動画配信を申し込みました。楽しみにしています。最近の気象は異常な気温の高さや、梅雨明けの分かりづらさ、台風の大型化、ゲリラ豪雨など、昔とは違ってきていると思います。SDGsとも絡めて、これを機会に勉強したいです。

8面 あつぎいろ

- 駅前にATSUGIモニュメントがあり、何だろうと気になっていたのです。
- こんなにださいモニュメントは初めて見た。これがにぎわい創出につながっているのか。税金の無駄遣いといき言いようがない。

8面 ペットは家族の一員

- 家でペットを飼っているのが興味があります。
- ペット飼育者は最後まで責任をもって飼育してほしい。
- 我が家にも家族一員の犬がいるので、共感できることばかりでした。
- ペットを飼ったことのない人には分からないほど、ペットは家族の一員です。

8面 自然歳時記

- 厚木市の自然歳時記は、毎回楽しみです。
- 毎号、自然歳時記を楽しみにしているため。

興味を持てる記事がなかった

3人

広報あつぎ1382号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 今回の「広報あつぎ」について、意見・感想、その他、取り上げてほしい内容があればお聴せください。

- 次号も期待します。
- 役立つ情報が多かった。
- 次号を楽しみにしています。
- 枚数を減らした方が良いですね。
- 記事の内容が多岐にわたり充実していますね。
- 9月号だからか、秋っぽい配色になった気がします。夏が終わったということを改めて感じました。
- 毎号、写真の掲載を楽しみにしています。景色はすてきで、人物は人柄が分かる感じがして大好きです。
- 様々な世代に響く内容に工夫されていると思います。より多くの目に触れる広報紙の仕組みに改善されるとより良いと思います。
- 記事に多様性があり、バランスも良く、全体的にとっても好感を持ってました。また、写真や見出しも効果的に使われていて一目で分かりやすいので、興味のある記事を選んで読む読者に優しいと感じました。
- 真面目に購読を始めてからまだ3ヶ月ですが、毎回多様な記事が載っていると思います。自分にも身近なことばかりなので、読みやすく読み応えもあります。お得な情報もあるので見逃さないようにしたいと思います。また、今月は商店街プレミアム商品券がとても気に入っています。
- 毎回取り上げた話ばかりで興味が持てない。もっと他県や他市役所を分析し、勉強してほしい。その参考事例として、千葉県松戸市のすぐやる課は、昭和44年10月6日に誕生して今年で50周年以上を迎え、市民の安心・安全な生活のパートナーとして取り組んでいる。千葉県松戸市のように市民が何を求めているのかを理解して仕事していただきたい。
- SDGsへの熱心な取組が伝わってきた。
- SDGsフェスティバルに参加してみたい。
- SDGsの時代であると感じさせられた。
- 持続可能な生活について、考えるきっかけとなり良かったです。
- まちのコインのおかげでSDGsを少しでも意識できるようになった。
- まちのコインを使ってみたいですが、なかなか自分が立ち寄るお店では対応していないので使えずにいます。
- どのページも興味を引く内容でしたが、特に「あつぎ元気wave」でも取り上げていたSDGsの特集が良かったです。
- SDGsについて、やらなければならないことではなく、自分ならできることを見つけて気軽に取り組みたいと思いました。
- SDGsが市民の皆さんに広く浸透しているかというところではない感じがするので、大々的に取り上げても良いと思います。
- SDGsの取組が紹介されているのは参考になります。私はバスを利用せず、自宅から本厚木駅、海老名駅までは徒歩で出掛けています。
- アユモについての情報提供をもう少し丁寧かつ周知活動を拡大してほしいです。私自身、名前は聞いたことがありますが、詳しく理解していません。

- SDGsは正直分かりません。アユモをスマートフォンに入れたのですが、使い方がいまだによく分かりません。時々、詳しく紹介してくれると有り難いです。
- SDGsという言葉をよく聞くようになりました。今月号の表紙もそうですね。各自の積み重ねなので大切ですが、生活品質を維持しつつ、無理せず取り組んでいければと思います。
- 4面の「私たちのSDGs」を読み、一人一人が未来のためにできることを模索し実行することが大切だと考えました。SDGsの関連記事が多く掲載されているため、関連付けて読むことができ、理解しやすい内容となっています。
- 小型カメラの調査結果や子どもたちの感想なども掲載してほしいです。
- 子どもたちにウェアラブルカメラを付けてもらい、危険を未然に防ぐことができれば、良い試みだと感じた。
- 共働きが多くなっている今、子どもたちへの目が少なくなっていると感じます。金銭的な事情で働かない母親が、働かずに子どもたちを見守れる環境だったら良いと思います。
- 今月号の「小型カメラで事故を未然に防ぐ」「救急車の適正利用を」など、身近で重要な取組の周知記事の充実を望みます。
- 救急車の適正利用は、一人一人が真摯に取り組んでほしい。
- どのような時に救急車を呼んだら良いのか考えるきっかけになりました。
- 3面に記載されている救急医療情報セットがどのようなものなのか知りたくなりました。
- 数年前は、子どもが今より小さかったので、妻があつぎ健康相談ダイヤルを度々利用していた。しかし、子どもの容態について早く相談したいのに、つながらない時はずっとつながらなかった。救急車を呼ぶか呼ばないかの緊急の判断の時に、健康相談ダイヤルにすぐつながるのか不安がある。
- ワクチンの副作用をしっかりと知りたい。
- 早く新型コロナウイルスが終息してもらうことを願うばかりです。
- 新型コロナウイルス関係の記事が少ないので、新ワクチン接種の情報などを充実してほしい。
- 「あつぎいろ」のキャンペーンの印象が薄いと思いました。モニュメントがあっても、道行く人があまり関心を持っていないように感じました。せっかくなのできなライトアップをしていたので、もう少し宣伝があっても良かったのかなと思いました。
- 「ペットは家族の一員」に共感です。
- 「ペットは家族の一員」はそのとおりだと思う。
- 近所に野良猫が4、5匹いたのですが、最近見掛けないのでどうしたのかなと思っていたところなので、動物愛護週間の記事が目に入りました。また、TNRは知りませでした。
- 「ペットは家族の一員」というのはよく分かるので、責任を持って育ててほしいと思います。また、避難所のペット問題で、アレルギー症状が出る人たちへの配慮もしてほしいです。
- 9月の動物愛護週間に関連して、やはりペットは最後まで面倒を見て、見送りたいです。我が家も、3月に18年近く家族の一員だった柴犬を看取りました。健康な犬だったので、今までは年に一回の健康診断と、ワクチン接種くらいで獣医さんにお世話になることはありませんでした。今年に入り、3ヶ月ぐらいで驚くほど費用は掛かりましたが、ペット霊廟に納骨できました。ペットは家族ですね。
- 20年前は多くの種類の虫が畑にいたが、今は数種類しかいないので寂しく感じる時もある。
- トンボがたくさん生まれるような里山の環境がこれからも守られていくことを願っています。
- イベント情報が知りたい。
- 街づくりの政策が知りたい。

- 新庁舎の関連情報が知りたい。
- 市内の企業紹介記事が見たい。
- 散歩コースを取り上げてほしい。
- イベントカレンダーがほしいです。
- 鮎まつりの詳細情報が知りたいです。
- 健康に関する情報を紹介してほしい。
- 子育て支援のことや給食の取組が知りたい。
- 消費者教育や消費者市民社会等の内容を取り上げてほしいと思います。
- 災害に備えて、これからのためになるようなことを教えてもらいたいです。
- 果物狩りについての情報や、紅葉がきれいなハイキングコースを取り上げてほしい。
- これから涼しくなり、運動がしやすくなるので、市内のランニングコースを取り上げてほしい。
- 市からの情報発信だけでなく、市民の活動や意見紹介のコラムがあっても良いのではないかと思います。
- 延期になった鮎まつりについて取り上げてください。また、市としての新型コロナウイルス対策も知りたいです。
- 訪問看護ステーションの特集が見たいです。また、地域包括支援センターの紹介や、お年寄り一人の場合の登録について、コロナ禍で近所と疎遠になりがちな人を支えてくれるものを知りたい。
- 夏休み期間だったせいか、興味を引く記事が見当たらなかったのが残念です。今後、新たな交通手段として話題となっているキックボードについて、まだ普及していない今から正しい使い方、法律などを交えて解説してもらいたい。
- 街を散歩していると、かなり多くの商業施設が移転したり、廃業になったりしています。1年で閉店した飲食店などもあり、がっかりすることがあります。街の変化や気づいたことを気軽にSNSで知らせていくのも良いと思います。
- 高齢者と若者が共存している場の紹介、もしくは高齢者と若者がコミュニケーションできる場の紹介が良いです。2025年以降は人口が減り、高齢者が増え、若者が減る傾向になるため、高齢者の知恵や経験を若者に伝える場が必要だと思います。今の厚木市には、このような場が無かったり、弱い気がします。
- 本厚木駅北口の再開発は、他の市町村の魅力的なところを参考に進めてほしいと思います。持続的に発展し続ける街になってほしいです。

広報あつぎ1382号(9月1日号)インターネットモニターアンケート結果

Q 視聴した「あつぎ元気Wave」について、感想、意見をお聴かせください。

あつぎ元気Wave9月第1回(9月1日から9月15日まで)

- いつも楽しく拝見しています。
- いずれも興味深く視聴しました。
- 全体的に分かりやすく、自然体な雰囲気良かったです。
- アユモが気になりました。
- SDGsの内容が分かりやすかった。
- 紹介されていたすごろくをやりたいと思いました。
- SDGsの特集は良かった。大変参考になりました。
- SDGsの解説しか、注目に値する内容はありませんでした。
- 各年代が環境に興味を持って過ごすことは大切だと思いました。
- 小さなことから、環境のためになることをしていきたいと感じた。
- すごろくはとても楽しそうです。すごろくを広報紙に掲載してほしいです。
- 節電、節水など、身近なところからしっかりSDGsに取り組んでいこうと思う。
- SDGsはよく聞かすが、あまり理解していなかったので、取り上げられていて興味深く視聴しました。
- SDGsはよく分かりませんが、普段から行っている節約をこれからはもしっかりしていこうと思います。
- 「SDGsを考える」では、様々な取組が紹介されていて、大変良い放送でした。皆で再度考えましょう。
- SDGsをみんなで取り組んでいきたいと思います。9月25日のあつぎSDGsフェスティバルには参加したいと思います。
- SDGsについての説明で、今まで何となくしか理解していませんでしたが、自分にできることは何かを改めて考えるきっかけになりました。
- SDGsは大事なテーマなので、広報メディアとして良いと思います。さらに、インフルエンサーを使って実践活動も展開されると良いと思います。
- SDGsで地球の未来を守るため、個人で取り組めることを知り、実行できることを考えてみたくになりました。また、大学生の活動にも期待しています。
- SDGs問題に対して、小さなことや身近なこと、個人単位でできることなどをゲームやクイズなどにして、仲間と話していくことはとても良い取組だと感じました。
- SDGs普及啓発のためのフェスティバル開催や、学生たちが考案したSDGsすごろくは良いアイデアですね。すごろくは各小・中学校に配布した方が普及に効果があると思います。
- SDGsについて、自分自身は17項目あることも小学生の娘から聞いて知ったくらい疎かったのですが、日々の儉約的な生活や、ごみの削減等をしているだけでSDGsになることもあると分かりました。ただ、17項目全部を言えるかという娘の方がすらすら言えます。会話中に私がエコだねと言うと、すかさず娘はSDGsだねと重ねてきたりします。学生さんたちの若い人の取組が子どもたちにSDGsを根付かせているのだと思います。
- 節水や節電など、できることから取り組みたいと思いました。また、ノーマイカーデーは、子どもが小さいので負担が大きいです。

- 大学生の取組を見て、自分もちゃんと真剣に取り組みたいと思いました。また、ノーマイカーデーについては、公共交通機関を使いたいですが、やはり不便さや時間が取れないことを理由にして使っていないので、週の何日かは車を使わないようにしたいと思いました。
- SDGsは正直分かりません。普段の取組がそのままSDGsに沿うのではないのでしょうか。また、あつぎモニュメントは理解しました。あつぎカラーはよく考えたと思います。
- 日々車に乗ることが当たり前になっているが、公共交通機関を利用しようと思った。
- あつぎノーマイカーデーはとても良い取組だと思うので、今後に繋がることを期待します。
- あつぎノーマイカーデーは、厚木市単独の取組でしょうか。効果がどの程度あったか知りたいです。
- ノーマイカーデーについては、南北方向の路線や乗継割引など、公共交通機関の拡充をお願いしたいところです。
- ノーマイカーデーの取組は初めて知りました。自家用車は便利だが、環境負荷を考える良い機会だと思います。しかし、参加者募集については、応募するとなにがあるのか分かりづらかったです。この取組は広報紙でも、紹介していくと良いと思います。
- あつぎいろのライトアップが楽しみです。
- モニュメントがやはり下さい。キャンペーンに参加したくない。
- モニュメントの解説が良かったです。もっと商品などの説明があれば良かったかもしれません。
- ATSUGIモニュメントは、荻野運動公園などの厚木市北部にもあったら良いなと思います。
- 9月の連休に他県から知人が遊びに来る予定なので、ATSUGIモニュメントは思い出にもなるため撮影しようと思いました。
- あつぎカラーは語呂合わせが良い。昨年も見たとような気がするが、どのような色に変化するのか夕方まで残って見てみたいと思う。

あつぎ元気Wave8月第2回(8月15日から8月31日まで)

- 厚木郷土博物館での土器展示の紹介、ぼうさいの丘公園にある備蓄倉庫の紹介など、厚木市内で見たことのない施設や取組を知ることができ、大変興味深く視聴させていただきました。これからもこのような施設や取組をどんどん紹介していただきたいと思いました。
- 災害に備え、家の備蓄について確認しようと思いました。
- 今年は地域での防災訓練が各自治会で開催できなかったことが残念。また、防災マップを常に目の届く場所に置いておくことは大事です。
- ぼうさいの丘公園の備蓄倉庫をこの番組で初めて見ました。2万人が3日間利用できる備蓄量に安心しています。また、かかりつけ医は貴重な存在です。私も2か所のかかりつけ医に健康管理をしていただいています。
- 「夏は郷土博物館に行こう」に興味深く見ました。ただ、どのような理由で有孔鍔付土器の特集なのかをもう少し丁寧に説明してもらいたかった。